

未来の下水処理場について語ろう 開催報告

令和5年1月吉日

打ち上げ HANA VI

一般社団法人 Water-n

一般社団法人 Water-n が主催する水インフラマネジメント大学の1期生(令和3年度受講生)の有志グループである“打ち上げ HANA VI”は、講義での学びや議論を通じて創り上げた未来の下水処理場のアイデアを発表すると共に、今後の下水処理場や街づくりに関心をお持ちの方との意見交換を行う談話会を令和4年12月6日に開催いたしました。

当日は、東京大学工学系研究科都市工学専攻下水道システムイノベーション研究室の特任准教授である加藤裕之氏をお迎えし、会場参加とオンライン参加を合わせて100名以上の参加者と熱心な意見交換を展開いたしました。開催の概要、発表内容およびディスカッションの要旨については、別添の報告書をご覧ください。

打ち上げ HANA VI のメンバーは今回のイベントを通して、実現したいことがありました。それは、下水インフラをより一層魅力に溢れる施設へと変えていくための新しい選択肢を提示することです。そして、内向き思考で過去の延長線上にある想定内の未来を辿るのではなく、水インフラ業界が秘めている大いなる可能性を発現させるための最初の一步を、イベント参加者の皆様と共に踏み出すことでした。イベント開催後に参加者のアンケート回答からは、提案させていただいたアイデアやディスカッションの内容に対し、様々なご意見やご提案を頂戴しました。それらの多くは共感や激励であり、私たちの最初の願望は達成されたと感じています。改めて、参加者の皆様に御礼申し上げます。

提案したアイデアの実現までには長い道程が必要であり、また途中には様々な課題が山積しています。しかし、イベント当日のディスカッションやアンケート回答を通じて皆様から頂いた新たな気づきや具体的なアクションプランは、私たちに「業界の英知を集結すれば達成できるはず」という自信を与えてくれました。今はまだ、水インフラ業界という大きな海原に一石を投じ、波紋を起こすことすら出来ていないかもしれませんが、私たちの抱く夢に共感して頂いた皆様と力を合わせることで、未来を変える大きなうねりを創り出すことができるという確信が得られました。

当日にご参加いただいていた方々にも、是非このイベントの報告書に目を通していただき、ご意見を頂戴したいと考えています。ただの一石が生み出した小さな波紋を大きなうねりへと成長させていくため、皆様の周囲の方にもこの報告書を共有いただきますよう、ご協力をお願い申し上げます。

打ち上げ HANA VI では、今回のイベントではお伝えしきれなかったアイデアの残り半分について、今年の夏に第2回目のイベントで発表し、改めて意見交換の場を持つことを計画しています。初夏に改めて開催に関するご案内を配信致しますので、皆様のご参加をお待ちしております。

(補足) 本イベントの開催告知で呼び掛けていたイベント後の飲食店における交流会は、新型コロナウイルス感染状況を鑑み開催を見送りました。次回イベントでは無事に開催でき、皆様と心ゆくまで意見交換できることを願っています。

【本件に関するお問い合わせ先】

イベント運営委員 窓口担当/森脇

電話:080-4862-7187

Mail: mizumane.hanavi@gmail.com

以上